

平成 23 年度

JA 人づくり研究会・総会 資料

平成 23 年 8 月 19 日

午前 11 時～

東京・大手町・JA ビル 36 階 大会議室

平成 23 年度 JA 人づくり研究会・総会 次第

1. 開会

JA 綱領の唱和。

東日本大震災で被災された方、亡くなられた方のために黙祷。

2. 挨拶 今村代表

3. 議長選任

JA 人づくり研究会 黒澤副代表。

4. 議事録署名人・書記

議事録署名人、JA 松本ハイランド 高山専務。

書記、日本農業新聞・加藤さん。

5. 議事

平成 22 年度 活動報告(案)・収支決算。

平成 22 年度監査報告、JA はだの・古谷組合長。

平成 22 年度 活動報告(案)・収支決算、拍手で採択。

平成 23 年度 活動計画(案)・収支予算(案)、拍手で採択。

なお、会費は入会時にのみ徴収することを了承される。

4. 閉会

平成 22 年度 活動報告(案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、JAにおける課題を考慮し、以下の研究会を開催した。

- ・第8回 JA人づくり研究会 平成22年7月2日(金)13時～3日(土)12時

場 所：東京都千代田区大手町1-1-12 コープビル 5階 第1会議室

テーマ：「地域を興す人材の創造」

- ・平成22年度 研究会総会 7月3日 11:30 JAビル 4階 401会議室

- ・第9回 JA人づくり研究会 平成22年10月8日 10:30～18:00

場 所：東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル 27階 大会議室

テーマ：「農業の6次産業化で地域を興す一人材をいかに増やすか」

- ・第10回 JA人づくり研究会 平成23年2月10日(木)午前10時30分～午後6時

場 所：東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル 27階大会議室

研究テーマ：研究会・副代表による課題提起

2. ホームページを通じた情報発信

平成21年10月20日ホームページを開設し、研究会の活動報告を順次掲載した。

(ホームページ アドレス <http://www.ja-hitodukuriken.jp/about/index.html>)

3. JA人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行った。(順次ホームページに掲載中)

4. その他、本研究会の目的を達成するために必要な活動を行った。

平成23年1月25～26日、今村代表、高橋・黒澤・麻生副代表が、広島県・世羅高原6次産業ネットワークの各団体を視察・調査した。

(調査内容については、別添「所長の部屋」を参照)

平成 22 年度 収支決算

(2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日)

収入

(単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 |
|--------|-----------|-----------|----------------|
| 会費 | 800,000 | 200,000 | @20,000 円*10 人 |
| 研究会参加費 | 3,200,000 | 1,625,000 | |
| 雑収入 | | 268 | 利息 |
| 会費前受金 | | 0 | |
| 前年度繰越金 | | 1,121,366 | |
| 合計 | 4,000,000 | 2,946,634 | |

支出

(単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 |
|------|-----------|-----------|----------------|
| 研究会費 | 3,000,000 | 1,635,851 | 研究会講師謝金・旅費 会場費 |
| 事務費 | 240,000 | 420 | |
| 役員会費 | 800,000 | 516,047 | 企画会議（三役）旅費等 |
| 予備費 | 600,000 | 0 | |
| | 4,640,000 | 2,152,318 | 合計 |

平成 22 年度差引残高（次期繰越）

収入 2,946,634

支出 2,152,318

差引残高 794,316

監査報告 JA 人づくり研究会活動報告、収支決算書は、適正に作成されているものと認める。

2011 年 7 月 27 日

監事 杉山 忠雄

監事 古谷 茂男

平成 23 年度 活動計画 (案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、JAにおける課題を考慮し、年3回程度の研究会を開催する。

第11回研究会 平成23年8月19日

第12回研究会 平成23年11月下旬または12月上旬

第13回研究会 平成24年2月中旬または3月上旬

2. ホームページを通じた情報発信

ホームページを開設し、研究会の活動報告を行う。

また、会員間の情報交換・交流を行うため、「掲示場」を設置し、情報交換、課題解決のヒントを得たりできるようにする。(なお、投稿字数は2000文字まで)。

3. JA人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行う。

4. その他、本研究会の目的を達成するために必要な活動を行う。

平成 23 年度収支予算(案)

収入

(単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 摘要 |
|--------|-----------|----------------------------|
| 会費 | 200,000 | @20,000円*10人(会費は入会時のみ徴収する) |
| 研究会参加費 | 2,400,000 | 研究会3回@20,000円*40人*3回 |
| 雑収入 | | |
| 前年度繰越金 | 794,316 | |
| 合計 | 3,394,316 | |

支出

(単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 摘要 |
|------|-----------|--|
| 研究会費 | 2,250,000 | 研究会講師謝金・旅費@100,000円*4人*3回 会場費@350,000円*3回 |
| 事務費 | 240,000 | @20,000*12ヶ月 ホームページ更新費用 |
| 役員会費 | 600,000 | 企画会議(三役)旅費等@20万円*3回 |
| 予備費 | 304,316 | |
| 合計 | 3,394,316 | |

JA 人づくり研究会の軌跡

JA人づくり研究会は、平成 20 年7月の「第1回JA人づくり研究会」を皮切りに、これまで 10 回の研究会を開催してきた。

講演・実践報告テーマ一覧

| | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 第1回 平成 20 年 7 月 | ①組織リーダー育成とナレッジマネジメントを通じた学び合う職場づくり | 日本ナレッジマネジメント学会 理事長 森田松太郎 氏 |
| | ②我が養豚経営の自立の歩みと後継者育成 | 宮崎・JA尾鈴 前養豚部会長 遠藤威宣 氏 |
| | ③地域 NO.1JAづくりと組合員主役のJA運営、組合員教育活動 | 神奈川・JAはだの 専務理事 古谷茂男 氏 |
| | ④働きがいと専門能力を磨く複線型人事とCDPの運用 | 兵庫・JA兵庫六甲 常務理事 前田憲成 氏 |
| 第2回 平成 20 年 11 月 | ①人材を育てる仕事づくり・職場づくり | 全国農協食品株式会社 代表取締役社長 宮垣和正 氏 |
| | ②地域協同組合をめざすJAいずもの組織機構改革の狙いと課題 | 島根・JAいずも 代表理事専務 内田正二 氏 |
| | ③JA東京むさしの経営理念と人材育成戦略 | 東京・JA東京むさし 常務理事 麻生昭夫 氏 |
| 第3回 平成 21 年 2 月 | ①JA田子町における組合運営と組合員の意識改革 | 青森・JA田子町 代表理事専務 佐野房 氏 |
| | ②集落営農組織としての百世の組織化・運営とJAの役割と支援体制 | 福岡・JAふくおか八女 農畜産課長 下川茂利 氏 |
| | ③主体的・自主的な支所運営と組合員組織活動支援、職員育成の取り組み | 福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏 |
| | ④JAあづみの組合員組織活動の活性化への取り組み | 長野・JAあづみ 総務開発事業部福祉課 池田陽子 氏 |
| 第4回 平成 21 年 5 月 | ①JA甘楽富岡における組合員教育と参画型事業・運営の仕組みづくり | JA-IT研究会副代表 黒澤賢治 氏 |
| | ②JAいわて中央における組合員主役の集落営農と農家組合の組織化と支援対策 | JAいわて中央代表理事専務 熊谷健一 氏 |
| | ③みやぎ生協のメンバー(組合員)参加型の組織・事業運営 | みやぎ生協 生活文化部長 小澤義春 氏 |
| 第1回全 国公開研 究会 平成 21 年 8 月 | ①地域における仕事興しと多様な人たちとの連携 | 長野・(株)田切農産 代表取締役 紫芝勉 氏 |
| | ②仲間たちとの農業経営自立の歩みとJAへの期待 | 滋賀・(有)共同ファーム 社長 今井敏 氏 |
| | ③JAいわて花巻における地域を支える女性組合委員の協同活動 | 岩手・ハヤチネフーズ(株) 参与 高橋テツ 氏 |
| | ④組合員が主役の協同組合運営 | 福井県民生活協同組合 組織ネットワーク本部 執行役員 統括部長 久島雅夫 氏 |
| | ⑤総合JAとしての支店を核とした分権型マネージメント組織づくりの歩み | 福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏 |

| | | |
|---------------------|------------------------------------|---|
| 第6回 平成21年 12月 | ①JAの総合力を発揮した農業経営支援への取り組み | JA全中 農業経営管理支援室 上級専門職 岩村洋 氏 |
| | ②総合ポイント制の展開とJAの果たすべき役割 | 長野・JA松本ハイランド 組合長 伊藤茂 氏 |
| | ③JAの総合性を発揮するための職場づくりと人材育成 | 福岡・JA糸島 組合長 松尾照和 氏 |
| | ④大規模法人としてJAに望むこと | 富山・サカタニ農産 代表理事 奥村一則 氏 |
| 第7回 平成21年 3月 | ①JA伊達みらいにおける産地づくりと組織づくり | 福島・JA伊達みらい 常務理事 齊藤一郎 氏 |
| | ②ハトムギによる産地形成とJA主導の農商工連携 | 富山・JA氷見市 組合長 川上修 氏 |
| | ③女男共同参画によるJAの助けあい活動と仕事興し | 高知・JAコスモス 福祉生活部 中村都子 氏 |
| | ④パルシステムの考える仕事興し | パルシステム生活協同組合連合会 セカンドリーグ支援室 吉村一正 氏 |
| | ⑤地域興しとJAの役割に向けたいくつかの提言 | 宇都宮大学 農学部長 守友裕一 氏 |
| 第8回 平成22年 7月 | ①地域を基盤とする日本型農場制農業の創造 | 石川・株式会社六星 会長 北村歩 氏 |
| | ②星野村のムラ興しの視点と実践 | 福岡・JAふくおか八女 前副組合長 末崎照男 氏 |
| | ③メディコ・ポリス構想と農村医科大学への実践課題 | 佐久総合病院 色平哲郎 氏 |
| | ④農業の新人革命 | JA総合研究所 客員研究員 和泉真理 氏 |
| | ⑤中山間地域におけるコミュニティビジネスの創造 | 明治大学 教授 小田切徳美 氏 |
| 第9回 平成22年 10月 | ①農畜産物直販ネットワークの構築とJAの取り組み | 熊本・JAあしきた 総合直販部部长 木山優蔵 氏 |
| | ②組合員リーダー育成と地域農業の復権への取り組み | 長野・信州きのこマイスター協会理事長 (前JA中野市常務) 前澤憲雄 氏 |
| | ③ブランド確立のためのトップセールスと職員育成の取り組み | 北海道・JA中札内 組合長 山本勝博 氏 |
| | ④地域興しに欠かせない女性パワーの活用とその方法 | 広島・広島世羅高原6次産業ネットワーク コーディネーター 後由美子 氏 |
| 第10回 平成23年 2月 | ①大型合併JAの運営は組織力の強化から | 岩手・JAいわて花巻 専務 高橋勉 氏 |
| | ②学習活動をベースにした組合員参加型共育・研修活動の実践 | JA-IT研究会 副代表 黒澤賢治 氏 |
| | ③”地域と組合員”求められる人材 | 千葉・JA富里市 常務 仲野隆三 氏 |
| | ④JA教育活動の課題と「新たな協同を担う人づくり全国運動」の5つの柱 | JA全中 教育企画課 課長 田村政司 氏 |